

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	臨床医学演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	酒井 寛	実務経験と その関連資格	医学博士。国立循環器病センター病院、国立病院機構(大阪、京都、舞鶴など)に勤務。この間、病院付属の看護助産学校、リハビリテーション学院の講師、大阪大学医学部保健学科臨地教授、国際協力事業団専門家 など。			
《授業科目における学習内容》						
臨床工学技士に必要な臨床医学についての知識を習得する						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験にて記述試験をおこなう。その平均点評価:70% 出席評価:20%。レポート提出状況など平常評価:10%。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:臨床工学技士標準テキスト 参考書:臨床工学講座 臨床医学総論、目でみるからだのメカニズム、検査データ活用マニュアル、コメディカルのための内科学						
《授業外における学習方法》						
次回の授業内容を把握するため、事前に教科書の内容を確認すること。 配布する演習問題を次回講義までに解いておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
解剖学、生理学、病理学、医用治療機器学との絡みも多く、疾患と関連させて理解すると記憶に残る学習が可能である。各疾患ごとに演習を実施し、理解力を確認する。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	内科学の概要について理解する	臨床工学技士標準テキスト	配布された資料、演習問題を予習する。	
		各コマにおける 授業予定	内科学的疾患へのアプローチ、症候と病態生理、全身性疾患の病態生理、応急・救急処置について学ぶ			
第2回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	外科学の概要について理解する	臨床工学技士標準テキスト	配布された資料、演習問題を予習する。	
		各コマにおける 授業予定	手術概論、創傷治癒、消毒・滅菌、患者管理、外傷・熱傷について学ぶ			
第3回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	呼吸器系について理解する	臨床工学技士標準テキスト	配布された資料、演習問題を予習する。	
		各コマにおける 授業予定	感染症、新生物、閉塞性肺疾患、拘束性肺疾患、呼吸不全、肺循環疾患、その他の呼吸器疾患について学ぶ			
第4回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	循環器系について理解する	臨床工学技士標準テキスト	配布された資料、演習問題を予習する。	
		各コマにおける 授業予定	血管病学、心臓病学について学ぶ			
第5回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	内分泌系、代謝系について理解する	臨床工学技士標準テキスト	配布された資料、演習問題を予習する。	
		各コマにおける 授業予定	内分泌疾患(下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患)、代謝系疾患(糖尿病、脂質異常症、肥満、高尿酸血症、骨代謝、ビタミン疾患、先天性代謝異常症)について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	神経系、筋肉系について理解する	臨床工学技士標準テキスト	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	神経系障害の症状、神経・筋肉疾患について学ぶ		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	感染症について理解する	臨床工学技士標準テキスト	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	感染性微生物、感染防御策、薬剤耐性菌、院内感染症、食中毒、血液を介する感染症、皮疹を伴う感染症、輸入感染症、日和見感染症、性感染症、敗血症、パンデミックについて学ぶ		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	腎臓、泌尿器系、生殖器系について理解する	臨床工学技士標準テキスト	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	腎臓の疾患、尿路の疾患、生殖器系の疾患およびその治療法について学ぶ		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	消化器系について理解する	臨床工学技士標準テキスト	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	食道疾患、胃・十二指腸疾患、小腸・大腸疾患、肝疾患、胆道疾患、膵疾患、腹膜疾患、およびその治療法について学ぶ		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	血液系について理解する	臨床工学技士標準テキスト	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	赤血球系疾患、白血球系疾患、凝固・線溶系疾患・その他の疾患について学ぶ		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	麻酔科系について理解する	臨床工学技士標準テキスト	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	全身麻酔、区域麻酔および局所麻酔、手術室内での安全管理、ペインクリニックおよび緩和医療について学ぶ		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	救急・集中治療医学について理解する	臨床工学技士標準テキスト	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	救急医療体制、災害医療、救急処置、患者管理、脳死、患者搬送、集中治療施設、患者管理について学ぶ		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	臨床生理学検査について理解する	臨床工学技士標準テキスト	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	機能検査(呼吸器系、循環器系、脳・神経系、腎臓系)について学ぶ		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	免疫・移植について理解する	臨床工学技士標準テキスト	配布された資料、演習問題を予習する。
		各コマにおける授業予定	免疫不全症、自己免疫性疾患、アレルギー反応による疾患、臓器移植、造血幹細胞移植、移植片対宿主病について学ぶ		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	本講義内容について、要点を理解した上で説明ができるようになる	臨床工学技士標準テキスト	
		各コマにおける授業予定	総合演習を行ない、講義内容の理解度を測る		